

立入防止柵 標準図集

平成28年 8月

【目 次】

PAGE	内 容 説 明	単価表の項目
1	解 説	
2	非積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=600mm)	一般型非積雪地用
3	急傾斜用 鋼管ぐい基礎(L=500mm)	急傾斜型
4	積雪密度が0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	一般型積雪地用S1(1)
	積雪密度が0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=2100mm)	一般型積雪地用S1(2)
	積雪密度が0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=2200mm)	一般型積雪地用S1(3)
5	積雪密度が0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1500mm)	一般型積雪地用S2(1)
	積雪密度が0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1700mm)	一般型積雪地用S2(2)
	積雪密度が0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	一般型積雪地用S2(3)
6	積雪密度が0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1200mm)	一般型積雪地用S3(1)
	積雪密度が0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1400mm)	一般型積雪地用S3(2)
	積雪密度が0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1500mm)	一般型積雪地用S3(3)
7	積雪密度が0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=900mm)	一般型積雪地用S4(1)
	積雪密度が0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1000mm)	一般型積雪地用S4(2)
	積雪密度が0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1100mm)	一般型積雪地用S4(3)
8	一般的な場合(様式-1)	立入禁止板
9	通学路において子供が立ち入る恐れがある場合(様式-2)	立入禁止板
10	高架下などに物が放置されたり、看板やポスターなどが貼付される恐れのある場合(様式-3)	立入禁止板

【目 次】
《参考図》

PAGE	内 容 説 明	単価表の項目
11	シカ類専用 非積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=600mm)	動物型(シカ類) 非積雪地用
12	シカ類専用 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S1(1)
	シカ類専用 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S1(2)
	シカ類専用 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=2100mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S1(3)
	シカ類専用 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1600mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S2(1)
	シカ類専用 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S2(2)
	シカ類専用 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S2(3)
	シカ類専用 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1300mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S3(1)
	シカ類専用 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1500mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S3(2)
	シカ類専用 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1600mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S3(3)
	シカ類専用 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=900mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S4(1)
	シカ類専用 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1000mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S4(2)
	シカ類専用 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1100mm)	動物型(シカ類) 積雪地用S4(3)
13	シカ類専用 嵩上げ 非積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=600mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 非積雪地用
14	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S1(1)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S1(2)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=2100mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S1(3)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1600mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S2(1)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S2(2)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S2(3)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.25\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1300mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S3(1)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.30\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1500mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S3(2)
	シカ類専用 嵩上げ 積雪密度が $0.35\text{tf}/\text{m}^2$ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1600mm)	動物型(シカ類) 嵩上げ 積雪地用S3(3)
15	シカ類専用 急傾斜用 鋼管ぐい基礎(L=800mm)	動物型(シカ類) 急傾斜型

【目 次】
《参考図》

PAGE	内 容 説 明	単価表の項目
16	一般型と動物型(シカ類)を兼用 非積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=800mm)	兼用型 非積雪地用
17	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	兼用型 積雪地用S1(1)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	兼用型 積雪地用S1(2)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=2100mm)	兼用型 積雪地用S1(3)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1600mm)	兼用型 積雪地用S2(1)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1800mm)	兼用型 積雪地用S2(2)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1900mm)	兼用型 積雪地用S2(3)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1300mm)	兼用型 積雪地用S3(1)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1500mm)	兼用型 積雪地用S3(2)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1600mm)	兼用型 積雪地用S3(3)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.25tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=900mm)	兼用型 積雪地用S4(1)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.30tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1000mm)	兼用型 積雪地用S4(2)
	一般型と動物型(シカ類)を兼用 積雪密度が $\hat{\rho}$ 0.35tf/m ³ の積雪地用 鋼管ぐい基礎(L=1100mm)	兼用型 積雪地用S4(3)
15	一般型と動物型(シカ類)を兼用 急傾斜用 鋼管ぐい基礎(L=800mm)	兼用型 急傾斜型